

JESCO 豊田PCB廃棄物処理事業だより(No.230)

1. PCB廃棄物の処理状況について

豊田PCB処理事業所に登録されたPCB廃棄物の内、平成17年9月の操業開始から計画的処理完了期限の令和5年3月31日までに99.94%のPCB廃棄物を受入れ、2,446トンのPCBの無害化処理を行いました。

また、北九州事業エリア中国四国地域からのPCB廃棄物の受入れは、コンデンサー3台と保管容器2台を除いて3月31日で完了しました。これまでの処理状況は以下のとおりです。

操業開始(平成17年9月)から令和5年3月31日までの受入実績は下表のとおりです。

対象物 (試運転含む)	処理実績(※登録台数比率)			
	【総数】		【内数】 北九州事業エリア継続保管物(中国・四国)	
変圧器類	2,465 台	99.84%	4 台	100%
コンデンサー類	81,545 台	99.97%	487 台	99.39%
廃PCB類	305,433 Kg	100.00%	9 Kg	100%
保管容器	3,236 個	99.88%	39 個	95.12%

※登録台数は令和5年3月31日現在の数値。

令和5年度はPCB廃棄物処理の最終年度です。豊田事業エリア(愛知県、岐阜県、静岡県、三重県)で新たに発見された高濃度PCB廃棄物も含め、全ての処理を令和6年3月31日までに終える予定です。最後の1台まで、安全第一にPCB廃棄物の確実な処理を行いますので、よろしくお願い致します。



2. 環境省中部地方環境事務所の自治体新任者研修で視察されました



4月20日(木)環境省中部地方環境事務所を始め、三重県や静岡市など10名の行政担当者の方々が新任者研修で視察されました。

当事業所は令和5年度末までにPCB廃棄物処理を終えることから、新たに高濃度PCB廃棄物が発見された場合は、速やかに当事業所に搬入するよう、行政から保管事業者様に指導されることを確認しました。

3. 交通安全街頭活動に参加しました

5月11日(木)に豊田市の「春の交通安全市民運動」に参加しました。

豊田PCB処理事業所からは、JESCO及び運転会社の社員がのぼりやタスキ、ハンドサインなどを掲げ、ドライバーに『安全運転』『ゆっくり停止・発進』などを呼びかけました。

屋外での活動ですが、互いに距離を取って実施しました。



PCB処理事業紹介シリーズ 第54回

今回は豊田PCB廃棄物処理施設の情報公開設備についてご紹介します。PCB廃棄物処理事業に関する情報を見学者の皆様にご覧いただけるよう、情報公開ルームや主要な処理設備等を見ることができ見学者通路などの設備を備えています。ぜひお越しください。(※豊田PCB処理事業所総務課に事前予約が必要です。)

情報公開ルーム

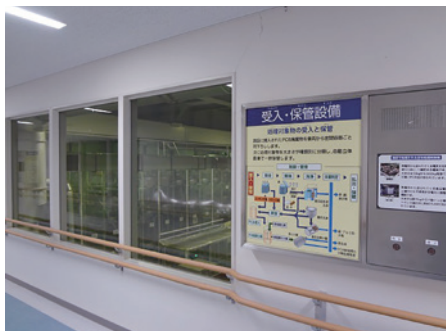


施設紹介のパネルや模型等で豊田施設や処理工程などをご紹介します。



3次元コンピュータグラフィック(3DCG)で施設をいろいろな角度からご覧いただけます。

見学者通路

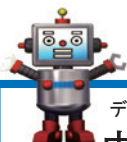


設備等を見ていただける通路には映像や音声で解説するパネルを設置しています。

プレゼンテーションルーム



豊田施設の紹介ビデオ等を用いて、わかりやすくPCBについてご説明します。



デジ丸

問い合わせ先

アザラシのびーちゃん

中間貯蔵・環境安全事業株式会社 (JESCO)

豊田PCB処理事業所 電話: 0565-25-3110 FAX: 0565-24-0543

【豊田PCB処理事業HP】 <https://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>